

## 第二回欠席委員（藤田委員）からの御意見

no.	該当箇所	御意見
1	全体	全体的には、各委員からのコメントに丁寧に対応し、よくまとまった、分かりやすい手引書になっているという印象を受ける。
2	P17	いきなり「自然との関わりを評価することが経営基盤を強化する」と出てくるのは唐突。「すべての企業が自然に依存し、影響を与えている。生態系サービスを楽しんでいる。その中でも森林は・・・こういう位置づけ。だから、経営基盤につながる」という流れにしないと、森林への取り組みや開示の重要性が伝わらない。後ろの情報と順番を組み替えるなど必要。
3	P18	2 ポツ目で、森林の多面的機能を高めることが企業価値向上になる、とあるが、なぜ森の機能を高めることが企業価値向上につながるのか説得力があまりない。レピュテーションや企業イメージだけなのか。機会創出や PBR 向上の事例など入れた方がよいのではないか。高付加価値の木材産出や、カーボンプレジットの創出、新素材の開発など……。P17 の下の表や P18 の表には詳細が書いてあるが、P18 冒頭だけ読むとよく分からない。
4	P19	機会において「グリーンファイナンスの利用」とあるが、どのようなグリーンファイナンスが森林分野であるのか、もう少し事例が必要。
5	P60	森林吸収カーボンプレジットの創出・購入が立ち上がってきている背景、需要の高まりも説明しておいた方がよくないか。東証カーボンプレジット市場の開設とか、GX-ETS の本格化とか。地域が盛り上がり、企業もそこに参入し始めている。また、海外の大規模森林投資ファンドも増えてきた。
6	P66	金融機関の取り組みに、「サステナブルファイナンスの目標値を入れている」だけでは弱い。気候変動対策が大半であり、ネイチャーはわずか。また、ネイチャーに特化したファイナンスも少ない。その中でも森林はどの程度なのか。投資家の共同エンゲージメントのテーマに森林関係が増えていることなどもう少し森林に特化した投資家の動きを入れたらどうか。
7	全体	森林に関連する企業にとっては、幅広く興味深い内容がまとまっていると思う。直接的な森林との関わりはないが森林の多面的機能を享受している一般の企業に対しても、アウトリーチできるように見せ方を工夫できると良いと思う。